

## ． 07年活動方針

方針 1 人々のねがいと結び、歌いつがれてきたうたを歌い、創り、「みんなうたう会」を旺盛に展開し、“共に生きる町づくり・地域づくり”のうたごえを広げる。

“いつでもどこでもうたごえを”を合言葉に一人・合唱・器楽・和太鼓と民謡・民舞...多種多様な形態で大勢の人とともに歌う喜びをひろげる。

イ、「SINGING PEACE 999」行動を、すべての合唱発表会参加団体がとりくむことをめざす。新版「うた・うた・うた～always」をあらゆる機会に広げる。  
(07年目標 39990部)

ロ、サークル・合唱団、うたごえ協議会で「うたごえ九条の会」をつくり、幅広い専門家、音楽愛好家とともに「音楽・九条の会」をつくり、広げ、地域、分野の「九条の会」との連携を深めた創意的活動を展開する。

ハ、すべてのサークル・合唱団は旺盛な演奏普及活動を行い、60周年までに全市区町村での“みんなうたう会”を計画を持って実践する。

二、人間らしく生き、働くために、地域・職場からのうたごえを共に起こす。

多くの人が“こぞってうたえる”愛唱歌を創りだす創作運動を活発にする。

イ、歌を創り生まれた作品を歌い、“みんなでつくり歌う運動”をひろげる

ロ、「日本のうたごえ創作センター」の機能を充実させ、創作活動家を生み出し、創作活動と作品交流を発展させる。

ハ、2月23日～2月25日開催の全国創作合宿を内容・参加運動とも成功させ、憲法守り生かす歌づくりと60周年を記念する大衆歌曲、合唱曲を創る力にする。

歌う喜びを出発点に、いのちや音楽の輝きを人々に届ける豊かな演奏創造を発展させる。

方針 2 地方、産業別、全国とも活発にし、歌う活動の実際を交流し、学び合い創造の前進をめざす合唱発表会にする。

合唱発表会を協議会活動の年間活動の柱に据え、演奏・講評を通じて交流し学び合うという発表会の原点をいっそう輝かせ、さらに改善を進める。

新しいところに積極的に呼びかけるとともに、開催の仕方、運営を工夫し、フェスティバル的内容を盛り込むなど豊かな交流ができる合唱発表会をつくる。

合唱発表会参加団体今年度70団体増の目標を持ち、未開催県の今年度開催計画を持つ。

方針 3 地方祭典の全都道府県開催をめざし、日本のうたごえ祭典の長期開催計画を持つ。

うたごえを起こし、新たな発展をめざす「うたごえ祭典」の役割を輝かせ、祭典運動の新たな前進をめざす。

「2007年日本のうたごえ祭典 in 奈良」を全国の連帯で成功させ、08年、うた

ごえ60周年祭典・東京を準備する

09年以降の祭典計画を祭典プロジェクトで検討、案をもつ。

方針 4 歌の広がりをうたごえ新聞読者につなぎ、豊かな「うたごえ発ジャーナル」を確立する。

読んで魅力を伝え、結びつきを広げ、読者になってもらう～読み、つくり、広げる～を合い言葉に紙面の中からたくさんの運動の財産を学び、創造、組織の力にする。うた新フォーラムを各地で計画的にすすめる

うたごえ新聞読者を05年到達を直ぐ回復し、新読者を1000人増やし、60周年に最高時読者を迎える展望をち、季刊「日本のうたごえ」新読者を150人増やす。

方針 5 うたごえ出版物をより多くの人にひろめ、様々な出会い・ドラマ・感動の輪を広げる。

すべての協議会加盟団体に事業部担当を置き、事業普及活動を活発にすすめる。新版「うた・うた・うた」、「07メーデー歌集」、「07祭典歌集」などを活用し旺盛な普及活動をすすめる。

方針 6 演奏・創造を発展させ、また、運動の理念を受けつぎ発展させる学習・教育をすすめ、21世紀の運動をになうリーダーづくりを計画的にすすめる。

それぞれの合唱団、サークルでの教育を日常の練習や実践の中で行うことを重視するとともに系統的に各種講習会への参加を強める。経験あるリーダーにつづく、中堅、若手リーダーが力を発揮し育っていけるように協議会でも計画的にすすめる。演奏・創造活動を豊かに発展させ交流し、批評活動や運動の理論活動をすすめ、力にしていく。

サークル・合唱団の参加を強め、全国講習会を成功させる。

教育・学習運動を活発にし、21世紀の運動を担うリーダーづくりを計画的にすすめる。

日本のうたごえ祭典参加の企画に合わせた全国祭典合唱団、日本のうたごえ合唱団の参加を強め、日本のうたごえの創造的前進をめざす。

合唱指導者懇談会の開催（全国指揮・合唱指導講習会時）、指揮者教育者会議（グループ）の結成、指揮者連絡会等、教育システムの組織化をすすめる。

方針 7 青年の要求に応えた音楽づくり、青年サークルづくりを積極的にすすめ、21世紀を担う青年をたくさん迎える。

青年の要求に敏感に目を向け、仲間づくり、サークルづくりと団体・分野を超えたネットワークづくりを強める

「運動する力」「音楽する力」をつける「学びの場」を系統的につくる

青年学生部を充実させ、全国を視野に入れた青年のうたごえの連帯を強める  
第2回全国青年のうたごえ音楽祭 in きょうと「響感」を成功させる。

方針 8 サークル・合唱団をつくり、大きくし、うたごえ協議会の強化と建設をすすめる。また、ブロックの連帯活動を活発にするため、ブロック連絡会づくりを強める。

サークル・合唱団を新しくつくり、サークル・合唱団員を増やし、合唱発表会参加団体、協議会加盟団体、うたごえ新聞・季刊「日本のうたごえ」の読者を増やすことを目標持って計画的にすすめる。

合唱発表会参加団体を70団体増やし、都道府県うたごえ協議会の確立目標を持ち、新加盟団体を50団体増やす。

方針 9 郷土の歌とおどりをを活発にし、専門家との協力協同、全国講習会の充実、和太鼓と民舞のまつりの全国展開プラン、まちおこし、まちづくりにつながる活動を計画を持ってすすめる。

方針 10 世界の音楽家、音楽団体との国際交流を広げる

アジア、世界への視点で60周年に向かう国際交流の輪を広げる。

07年光州芸術祭参加・米軍基地反対闘争交流ツアー（アジアの風プロジェクトとの取り組みとして）、「悪魔の飽食」ヨーロッパ公演、南京大虐殺70年「紫金草物語」第6次中国公演を成功させ、60周年めざすアジア、ラテンアメリカ、世界への交流の輪を広げる。

おわりに

わたしたちは「輝け憲法九条！ うたごえは未来を拓く」と平和のうたごえをつくり、広げ、歌・音楽の感動で、人々の心をつなぐうたごえを響かせてきた。

憲法を「改悪」し、国民の暮らし、自由を奪い戦争をする国になるのか、憲法を生かし、いのち輝く国にするのか、一斉地方選挙、参議院選挙の年でもある今年は、まさにその選択が国民一人ひとりに問われている。

いま、うたごえ運動への新たな期待が高まるなか、音楽・文化を通して一人ひとりの心に憲法の魅力を届ける「SINGING PEACE 999」行動を全国津々浦々でおこし、地域、職場に命かがやかせるうたごえを圧倒的多数の人々に広げたい。